

産業廃棄物処理計画書

令和 2 年 6 月 2 日

熊本県知事 殿

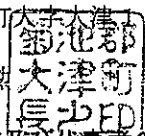
提出者

住所 熊本県菊池郡大津町大字大津1 2 3 3

氏名 大津町長 家入 照

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 096-293-3111



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大津町浄化センター
事業場の所在地	熊本県菊池郡大津町大字陣内1 5 2 3
計画期間	令和 2 年 4 月 1 日 から 令和 3 年 3 月 31 日 まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	下水道事業
②事業の規模	現処理能力12,000m <sup>3</sup> /日
③従業員数	19名（うちメンテナンス12名）

④産業廃棄物の一連の処理の工程

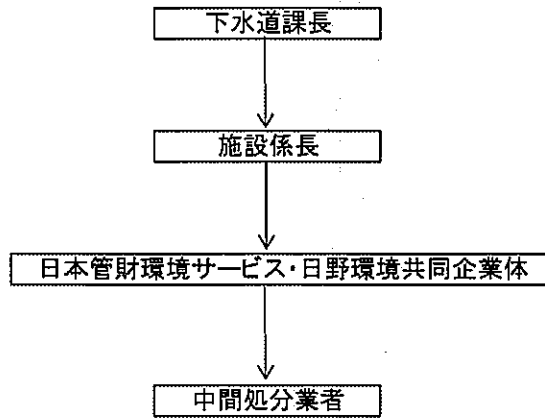
```

    graph LR
      A[沈砂池] --> B[ホッパー]
      B --> C[搬出]
      D[濃縮] --> E[消化]
      E --> F[汚泥搬出]
  
```

(しさ) (しさ・脱水汚泥) (しさ・脱水汚泥)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

		【前年度 ( 1 年度 ) 実績】							
① 現 状	産業廃棄物の種類	下水道汚泥							
	排出量	1,499.20 t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	排出量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
ポリテツ等の注入による脱水汚泥の含水率を低下させ、発生汚泥の削減を図っている。									
		【目標】							
② 計 画	産業廃棄物の種類	下水道汚泥							
	排出量	1,794.00 t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	排出量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
ポリテツ等の注入による脱水汚泥の含水率を低下させ、発生汚泥の削減を図っている。									

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現 状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
② 計 画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

		【前年度（1年度）実績】							
① 現状	産業廃棄物の種類	下水道汚泥							
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
		【目標】							
② 計画	産業廃棄物の種類	下水道汚泥							
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

		【前年度（1年度）実績】							
① 現状	産業廃棄物の種類	下水道汚泥							
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
		【目標】							
② 計画	産業廃棄物の種類	下水道汚泥							
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（1年度）実績】									
①現状	産業廃棄物の種類	下水道汚泥							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量								
(これまでに実施した取組)									
【目標】									
②計画	産業廃棄物の種類	下水道汚泥							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量								
(今後実施する予定の計画)									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（1年度）実績】										
①現状	産業廃棄物の種類	下水道汚泥								
	全処理委託量	1,499.20								
	優良認定処理業者への処理委託量									
	再生利用業者への処理委託量	1,499.20								
	認定熱回収業者への処理委託料									
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託									
	産業廃棄物の種類									
	全処理委託量									
	優良認定処理業者への処理委託量									
	再生利用業者への処理委託量									
	認定熱回収業者への処理委託料									
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託									
	(これまでに実施した取組)									

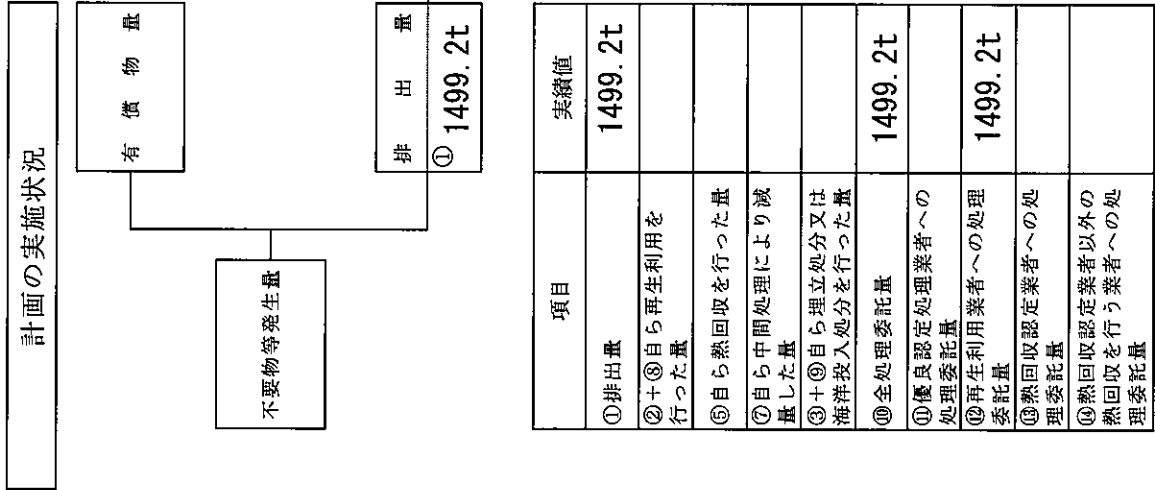
【目標】										
① 計 画	産業廃棄物の種類	下水道汚泥								
	全処理委託量	1,794.00 t	t	t	t	t	t	t	t	
	認定処理業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	
	再生利用業者への処理委託量	1,794.00 t	t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託料		t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託		t	t	t	t	t	t	t	
	産業廃棄物の種類									
	全処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	
	認定処理業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	
	再生利用業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者への処理委託料		t	t	t	t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託		t	t	t	t	t	t	t	
	(今後実施する予定の取組)									
	セメントの原料及びコンポスト肥料として、有効利用。									
※事務処理欄										

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類：下水道汚泥)



項目	実績値
①排出量	1499.2t
②+③自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	1499.2t
⑩優良認定処理業者への処理委託量	
⑪再生利用業者への処理委託量	1499.2t
③熱回収認定業者への処理委託量	
④熱回収認定業者以外の処理委託量	
⑪熱回収を行う業者への処理委託量	

自ら中間処理した後の再生利用した量	⑧	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑩ 1499.2t
自ら中間処理した後の埋立処分又は海洋投入処分した量	⑨	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑩
直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩	⑩のうち熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	⑩
⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪		



## 1. 大津町浄化センターの概要

住 所 熊本県菊池郡大津町大字陣内1523

処理方式 標準活性汚泥法

全体計画  
処理能力 18,000m<sup>3</sup>/日

現在処理  
能力 12,000m<sup>3</sup>/日

## 2. 汚水中継ポンプ場

ポンプ場名

### 1) 室汚水中継ポンプ場

住 所 大津町室字東迫尻

全体計画処理能力 1.34m<sup>3</sup>/分×2台

現在処理能力 1.4m<sup>3</sup>/分×2台

### 2) 引水汚水中継ポンプ場

住 所 大津町引水字東鶴

全体計画処理能力 0.94m<sup>3</sup>/分×2台

現在処理能力 0.86m<sup>3</sup>/分×2台

## 3. 処理施設の敷地内の主要な施設

P2～P4参照

## 4. 事業計画概要

P5、P6参照

## 5. 処理場の一般平面図

P7参照

## 6. 汚水処理のフローシート

P8参照

## 7. 廃棄物の処理フロー図

P9参照

## 9. 連絡先

大津町役場 土木部 下水道課  
電話番号 096-293-9511 担当 佐藤

## 10. 計画期間

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(第4表)

処 理 施 設 調 書								
終末処理場等の名称	位 置	敷地面積 (ヘクタール)	計画放流水質	処理方法	処理能力		計画処理人口	摘 要
					晴天日 最大 (立法メートル)	雨天日 最大 (立法メートル)		
大 津 町 浄 化 センター	大津町 大字陣内 字年の神 及び 字原口	4.32	BOD: 10mg/l	標準活性 汚泥法 +急速ろ過	18,000	—	人 25,860 30,540	計画下水流量(日最大) 13,500m <sup>3</sup> /日 15,900 m <sup>3</sup> /日 全体計画処理能力 18,000 m <sup>3</sup> /日  流入水質 160mg/l BOD…200mg/l 150mg/l S S…140mg/l

## 終末処理場等の敷地内の主要な施設

終末処理場等の名称	主要な施設の名称	個 数	構 造	能 力	摘 要
大 津 町 浄化センター	流 入 管 渠	1 式	鉄筋コンクリート造	流 量 約 0.40m <sup>3</sup> /秒	
	沈 砂 池	2 池	鉄筋コンクリート造	水面積負荷 1,800m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> 日	2/2
	ポンプ設備	3 台	水中汚水ポンプ	揚 水 量 0.5m <sup>3</sup> /分・台	3/3
	汚水調整池	6 8 池	鉄筋コンクリート造	1,600 <sup>3</sup> 容 量 約 2,700m <sup>3</sup>	6/6 8/8
	最初沈殿池	2 池	鉄筋コンクリート造 方形水平流型	水面積負荷 約 50m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・日	2/2
	反応タンク	3 池	鉄筋コンクリート造	HRT 約 8 時間	6/6
	ブロー設備	4 台		風量 約 12m <sup>3</sup> /分・台×2 台 約 13m <sup>3</sup> /分・台×2 台	4/4
	最終沈殿池	3 池	鉄筋コンクリート造 長方形水平流型	水面積負荷 約 25m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・日	3/3
	消毒タンク	2 池	鉄筋コンクリート造	接触時間 約 15 分	2/2
	ろ過設備	3 池		ろ過速度 約 1,000m/日	3/3
	放流管渠	1 式	鉄筋コンクリート造	流 量 約 0.40m <sup>3</sup> /秒	

## 終末処理場等の敷地内の主要な施設

終末処理場等の名称	主要な施設の名称	個数	構 造	能 力	摘 要
大 津 町 浄化センター	汚泥濃縮タンク	1 槽	鉄筋コンクリート造 重力式	固形物負荷 約 60kg/m <sup>3</sup> ・日	1/1
	汚泥濃縮機	2 台	機械式	処理能力 10m <sup>3</sup> /時・台	2/2
	汚泥消化タンク	2 槽	鉄筋コンクリート造 加温式	消化日数 約 30 日	2/2
	ガスタンク	2 基		容 量 約 400m <sup>3</sup> /基 100 約 200m <sup>3</sup> /基	2/2
	消化ガス発電設備	2 台	マイクロガスエンジン	発電出力 25kW	
	脱 水 機	3 基	ベルトプレス型	ろ 過 速 度 約 90kgDS/m・時	3/3
	管 理 本 館	1 棟	鉄筋コンクリート造	事務室、会議室、水質試験室、 電気室、管理制御室	1/1
	ボイラー棟	1 棟	鉄筋コンクリート造	ボイラー室	1/1
	汚 泥 処 理 棟	1 棟	鉄筋コンクリート造	脱水機室、汚泥貯留槽、汚泥 供給ポンプ室、薬品室、電気 室、ホッパ室	1/1
	沈 砂 池 棟	1 棟	鉄筋コンクリート造	沈砂池、沈砂池上屋、発電機 室、換気ファン室	1/1
	水 処 理 覆 蓋	1 棟	鉄筋コンクリート造	最初沈殿池、反応タンク、最 終沈澱池	
	受 変 電 設 備	1 式		受 電 容 量 約 900KVA	
	自 家 発 電 設 備	1 台		発 電 容 量 約 200KVA	

(第5表)

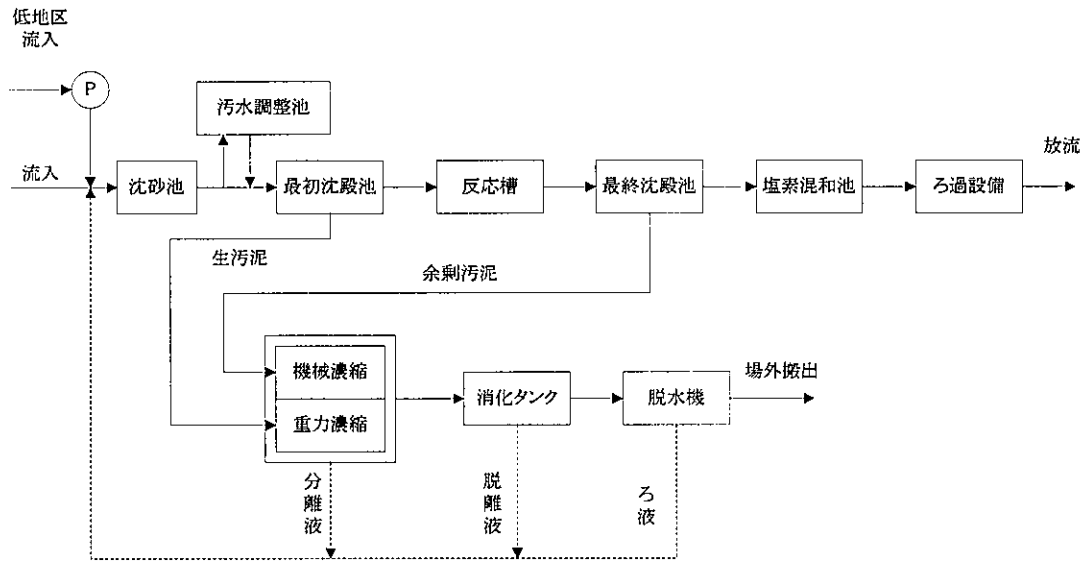
ポンプ施設調書						
ポンプ施設の名称	処理区の名称	ポンプ施設の位置	敷地面積 (単位ヘクタール)	1分間の揚水量 (単位立法メートル)		摘要
				晴天時最大	雨天時最大	
室汚水中継ポンプ場	大津処理区	大津町大字室 字東迫尻	0.03	1.14 1.34		
引水汚水中継ポンプ場	大津処理区	大津町大字引水 字東鶴	0.01	0.79 0.94		
ポンプ施設の敷地内の主要な施設						
ポンプ施設の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要	
室汚水中継ポンプ場	ポンプ井	1式	鉄筋コンクリート造			
	ポンプ	2台	水中汚水ポンプ	約 1.62m <sup>3</sup> /分・		
	上屋	1棟	鉄筋コンクリート造			
引水汚水中継ポンプ場	ポンプ井	1式	鉄筋コンクリート造			
	ポンプ	2台	水中汚水ポンプ	約 1.0m <sup>3</sup> /分・台		
	上屋	1棟	鉄筋コンクリート造			

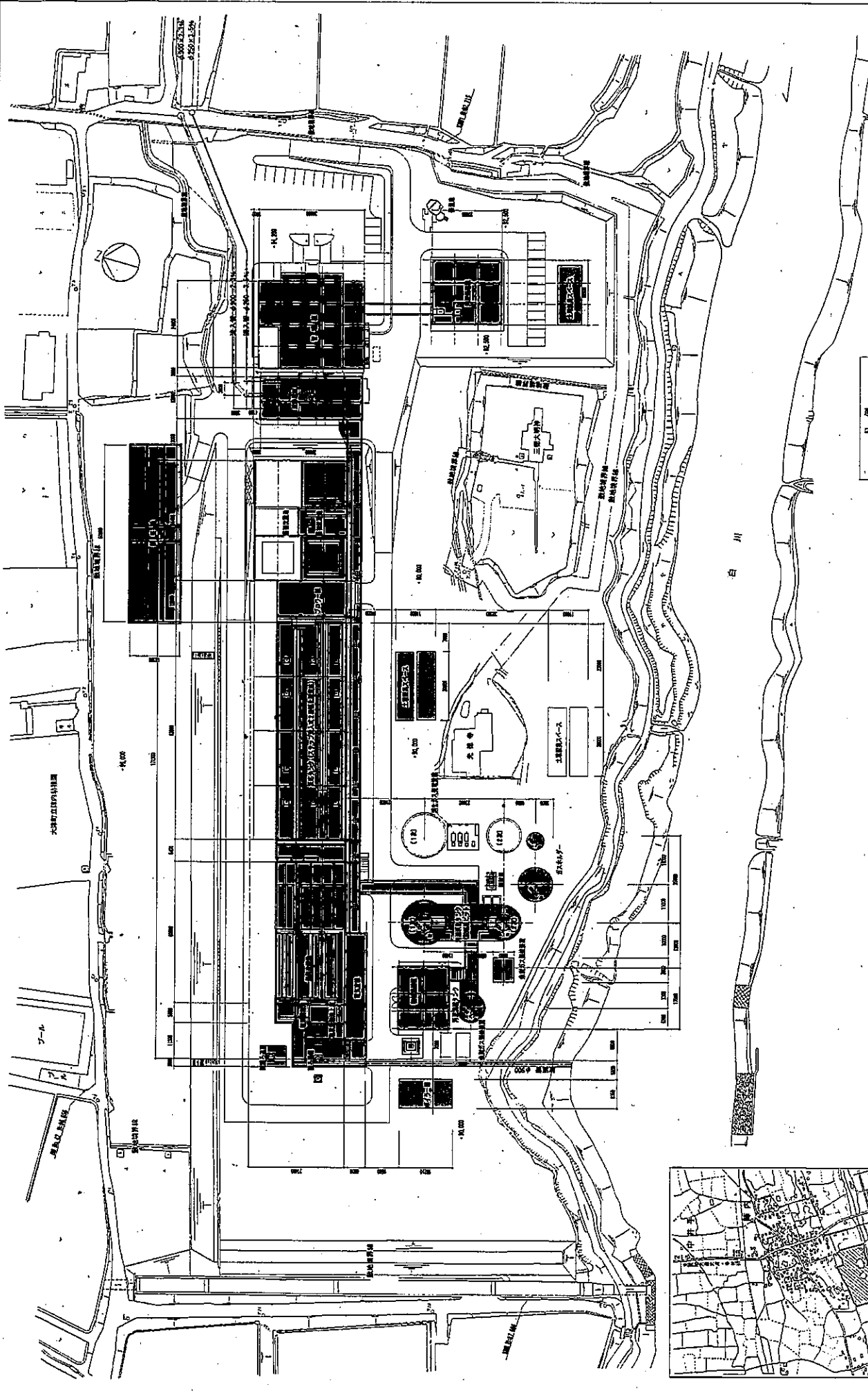
1-2-2 事業計画概要

項目		全体計画		事業計画	
		前回	今回	前回	今回
下水道計画目標年次		平成42年度	平成47年度	平成30年度	平成36年度
排除方式		分流式	同左	分流式	同左
計画処理面積 (ha)		(汚水) 1,025.0 (雨水) 770.0	(汚水) 1,084.0 (雨水) 770.0	(汚水) 946.0 (雨水) 212.0	同左
行政区域内人口 (人)		31,900	37,000	-	36,900
計画処理人口 (人)		27,700	32,400	25,860	30,540
生活系汚水量 原単位(L/人・日) (地下水を含む)	日平均	305	300	300	300
	日最大	370	365	365	365
	時間最大	540	530	530	530
生活系 (m <sup>3</sup> /日)	日平均	8,450	9,720	7,758	9,160
	日最大	10,250	11,820	9,439	11,150
	時間最大	14,959	17,170	13,706	16,180
工場 (m <sup>3</sup> /日)	日平均	3,920	5,280	3,920	4,480
	日最大	3,920	5,280	3,920	4,480
	時間最大	7,840	7,160	7,840	5,560
その他 (m <sup>3</sup> /日)	日平均	50	190	50	190
	日最大	50	230	50	230
	時間最大	90	370	90	370
合計 (m <sup>3</sup> /日)	日平均	12,420 (採用値 12,500)	15,190 (採用値 15,200)	11,728 (採用値 11,800)	13,830 (採用値 13,900)
	日最大	14,220 (採用値 14,300)	17,330 (採用値 17,400)	13,409 (採用値 13,500)	15,860 (採用値 15,900)
	時間最大	22,889 (採用値 22,900)	24,700 (採用値 24,700)	21,636 (採用値 21,700)	22,110 (採用値 22,200)
大津町 浄化センター	処理方式	標準活性汚泥法 +砂ろ過 (長期:ステップ流入式 2段硝化脱窒法)	同左	標準活性汚泥法 +急速ろ過	同左
	処理能力	18,000m <sup>3</sup> /日 (3系列)	"	18,000m <sup>3</sup> /日 (3系列)	同左
	敷地面積	約 4.32 ha	"	約 4.32 ha	"
	流入水質 (mg/L)	BOD 160 S S 150 COD 110 T-N 35 T-P 5.0	BOD 200 S S 140 COD 90 T-N 35 T-P 4.0	BOD 160 S S 150 - - -	BOD 200 S S 140 - - -
	放流水質 (mg/L)	BOD 10 S S 6 COD 12.2 T-N 12.7 T-P 1.2	同左 " " "	BOD 10 S S 6 - - -	同左 " - - -
	放流先	一級河川 白川	"	一級河川 白川	同左

項 目		全体計画		事業計画	
		前 回	今 回	前 回	今 回
汚水中継 ポンプ場	室中継 ポンプ場	1.33m <sup>3</sup> /分 A=約345m <sup>2</sup>	1.62m <sup>3</sup> /分 同 左	1.14m <sup>3</sup> /分 A=約345m <sup>2</sup>	1.34m <sup>3</sup> /分 同 左
	引水中継 ポンプ場	0.86m <sup>3</sup> /分 A=約100m <sup>2</sup>	0.99m <sup>3</sup> /分 同 左	0.79m <sup>3</sup> /分 A=約100m <sup>2</sup>	0.94m <sup>3</sup> /分 同 左
雨水 計画	雨水流出公式	合 理 式			
	降雨強度公式	I=5,680/(t+10) mm/時			
	確 率 年	5 年			
	流 出 係 数	計画区域0.45~0.60、区域外流入区域0.20~0.40			

(3) フローシート  
 【事業計画=全体計画】





施設名	平成17年度大分県立大学下学第二本館(川原田)建築設計
建築名称	建築設計事務所(有限会社セブ)
建築年月	平成 25年 1月
設計者	日本工業大学建築院
委託者	日本工業大学建設委員会
図番	01

凡例	既設	設計
	今回追加	今回削除

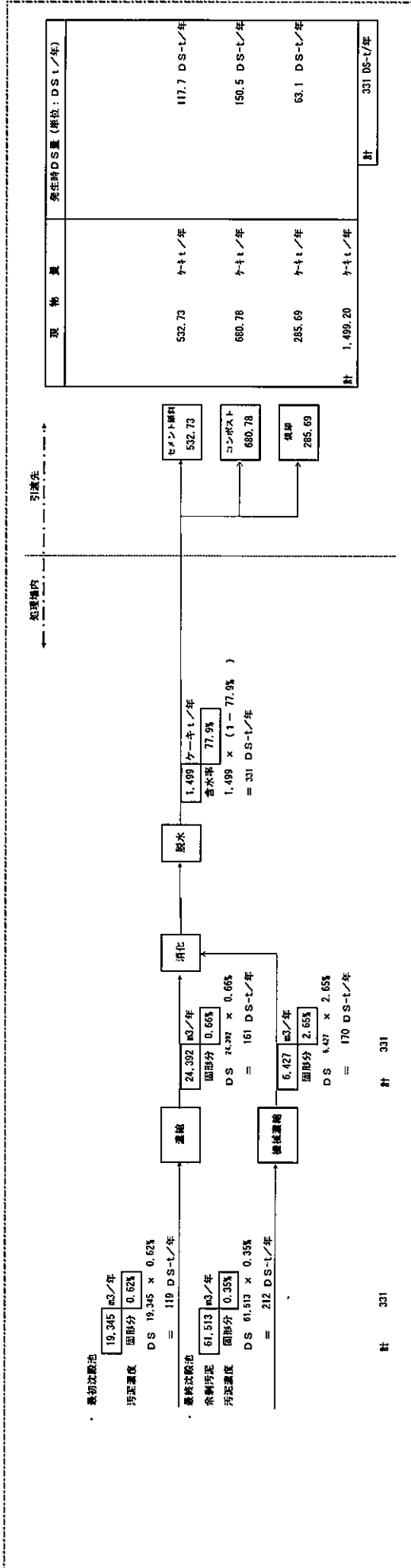


所在地地図 1/10,000  
大分県立大学第二本館(川原田)建築設計事務所



# 汚泥処理フロー図（令和元年度実績）

都道府県名 熊本県  
 市町村名等 大津町  
 処理場名 大津町浄化センター



計 331